



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所 東  
 コード番号 2196 URL http://www.escrit.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渋谷 守浩  
 兼最高執行責任者  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員 (氏名) 高梨 宏史 (TEL) 03(3539)7654  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,049	17.1	△364	—	△451	—	△409	—
28年3月期第2四半期	11,144	18.8	△455	—	△502	—	△354	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △410百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △355百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△34.42	—
28年3月期第2四半期	△29.97	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	26,263	4,898	18.6
28年3月期	24,652	5,350	21.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,878百万円 28年3月期 5,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	4.50	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,180	15.1	1,200	43.0	1,055	34.1	600	66.8	50.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	11,912,700株	28年3月期	11,866,200株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	652株	28年3月期	652株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	11,902,469株	28年3月期2Q	11,831,335株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成28年11月8日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を展開すべく、施設のスタイルにこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴施設を運営する当社の他、地方などの新たな地域でブライダル事業を運営する当社100%子会社である株式会社エスクリマネジメントパートナーズ(以下、エスクリマネジメントパートナーズ)、並びにグループ内における挙式・披露宴施設等の内装工事を請け負う株式会社渋谷(以下、渋谷)を軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

当第2四半期においては、主要広告媒体との連携強化や、新たな各種イベント施策により反響・来館数が向上したことに加え、スタッフのきめ細やかな接客による成約率向上及びキャンセル率低減の傾向にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13,049百万円(前年同四半期比17.1%増)、営業損失364百万円(前年同四半期は455百万円の損失)、経常損失451百万円(前年同四半期は502百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失409百万円(前年同四半期は354百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を見直し、「ブライダル事業」を「ブライダル関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「宿泊サービス」「レストランサービス」「宴会サービス」を含めております。また、「建築・内装事業」を「建築不動産関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「コンテナ事業」「不動産事業」を含めております。

このため、前年同期との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

## (ブライダル関連事業)

前連結会計年度に開業した直営の挙式・披露宴施設4屋号(7バンケット)及び地方展開するエスクリマネジメントパートナーズの9屋号(14バンケット)の業績貢献に加えて、他社とタイアップしたキャンペーン、ブライダルフェアを実施したことで来館数が増加したことや、採用強化と全社的な研修の実施により人的リソース不足がほぼ回復したことで成約率が向上し、ブライダル関連事業の売上高は11,540百万円(前年同四半期比29.5%増)となり、セグメント利益は291百万円(同2,664.4%増)となりました。

## (建築不動産関連事業)

渋谷における大型工事の受注や、個人住宅等の建築工事が順調に推移しているものの、一部工事の完成の期ずれ等により、建築不動産関連事業の売上高は1,229百万円(前年同四半期比40.7%減)、セグメント利益は33百万円(同80.7%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,610百万円増加して、26,263百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,110百万円増加したこと、未成工事支出金が153百万円増加したこと、完成工事未収入金が239百万円減少したこと、有形固定資産が536百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,062百万円増加して、21,364百万円となりました。これは主に、長期借入金が328百万円増加したこと、社債を600百万円発行したこと、前受金が841百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ451百万円減少して、4,898百万円となりました。これは主に、親会社株式に帰属する四半期純損失を409百万円計上したこと、前事業年度の期末配当53百万円を実施したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ2,110百万円増加し、6,067百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,109百万円(前年同四半期は185百万円の支出)となりました。その主な内訳は税金等調整前四半期純損失544百万円、前受金の増加額841百万円、売上債権の減少額363百万円、仕入債務の減少額495百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は385百万円(前年同四半期は942百万円の支出)となりました。その主な内訳は有形固定資産の取得による支出354百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は1,393百万円(前年同四半期は2,156百万円の収入)となりました。その主な内訳は長期借入れによる収入2,400百万円、社債の発行による収入600百万円、長期借入金の返済による支出1,829百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日付の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,223,537	6,334,355
受取手形及び売掛金	567,948	431,243
完成工事未収入金	282,862	43,577
販売用不動産	289,890	472,119
商品及び製品	107,855	68,364
原材料及び貯蔵品	106,091	115,950
未成工事支出金	101,023	254,873
その他	739,715	810,220
貸倒引当金	△9,637	△18,059
流動資産合計	6,409,287	8,512,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,993,140	10,573,161
その他	2,667,492	2,551,174
有形固定資産合計	13,660,633	13,124,335
無形固定資産		
のれん	245,872	209,636
その他	243,596	221,035
無形固定資産合計	489,469	430,672
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,241,880	3,242,073
その他	870,416	984,257
貸倒引当金	△18,855	△30,630
投資その他の資産合計	4,093,440	4,195,700
固定資産合計	18,243,543	17,750,708
資産合計	24,652,830	26,263,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,614,937	1,273,250
短期借入金	—	330,000
1年内返済予定の長期借入金	2,740,871	2,982,607
1年内償還予定の社債	10,000	70,000
未払金	1,035,045	965,006
前受金	1,185,924	2,027,075
その他	1,475,024	1,643,789
流動負債合計	8,061,803	9,291,728
固定負債		
長期借入金	8,438,721	8,767,346
社債	5,000	540,000
資産除去債務	1,894,651	1,886,293
その他	901,983	879,300
固定負債合計	11,240,355	12,072,939
負債合計	19,302,159	21,364,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	584,979	591,468
資本剰余金	542,979	549,468
利益剰余金	4,200,947	3,737,929
自己株式	△187	△187
株主資本合計	5,328,719	4,878,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	762	△179
その他の包括利益累計額合計	762	△179
新株予約権	21,188	20,186
純資産合計	5,350,670	4,898,686
負債純資産合計	24,652,830	26,263,354

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,144,177	13,049,007
売上原価	4,925,949	5,613,670
売上総利益	6,218,228	7,435,337
販売費及び一般管理費	6,674,134	7,799,534
営業損失(△)	△455,906	△364,197
営業外収益		
受取賃貸料	2,004	1,994
為替差益	10,734	—
貸倒引当金戻入額	5,057	—
解約返戻金	—	3,200
その他	4,371	6,918
営業外収益合計	22,168	12,112
営業外費用		
支払利息	53,091	62,897
その他	15,798	36,133
営業外費用合計	68,890	99,030
経常損失(△)	△502,628	△451,115
特別利益		
負ののれん発生益	17,364	—
新株予約権戻入益	—	3,613
特別利益合計	17,364	3,613
特別損失		
減損損失	—	87,751
その他	—	8,820
特別損失合計	—	96,571
税金等調整前四半期純損失(△)	△485,264	△544,073
法人税、住民税及び事業税	69,690	25,624
法人税等調整額	△200,323	△160,074
法人税等合計	△130,632	△134,450
四半期純損失(△)	△354,631	△409,623
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△354,631	△409,623



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△354,631	△409,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,211	△942
その他の包括利益合計	△1,211	△942
四半期包括利益	△355,843	△410,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△355,843	△410,566

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△485,264	△544,073
減価償却費	604,503	740,564
のれん償却額	35,272	36,236
減損損失	—	87,751
負ののれん発生益	△17,364	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,908	20,197
解約返戻金	—	△3,200
新株予約権戻入益	—	△3,613
受取利息及び受取配当金	△1,660	△1,766
支払利息	53,091	62,897
売上債権の増減額(△は増加)	△177,786	363,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,280	△152,597
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△15,715	△153,850
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,056	△495,541
前受金の増減額(△は減少)	619,918	841,150
未成工事受入金の増減額(△は減少)	74,019	126,519
未払金の増減額(△は減少)	△58,299	44,232
その他	△138,418	221,824
小計	432,050	1,190,695
利息及び配当金の受取額	1,465	1,766
利息の支払額	△52,248	△63,403
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△566,623	△19,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185,356	1,109,894
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△14,423	△13,425
定期預金の払戻による収入	1,200	13,200
有形固定資産の取得による支出	△790,350	△354,058
無形固定資産の取得による支出	△21,481	△19,561
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	131,769	—
敷金及び保証金の差入による支出	△239,912	△5,536
敷金及び保証金の回収による収入	5,923	1,949
その他	△15,004	△8,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△942,278	△385,527
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	433,336	330,000
長期借入れによる収入	3,400,000	2,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,560,466	△1,829,639
社債の発行による収入	—	600,000
社債の償還による支出	△20,000	△5,000
配当金の支払額	△65,016	△53,378
その他	△31,425	△48,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,156,427	1,393,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,734	△7,532
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,039,527	2,110,592
現金及び現金同等物の期首残高	4,613,350	3,956,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,652,877	6,067,533

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ブライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,911,771	2,074,419	10,986,191	157,986	11,144,177	—	11,144,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	264	384,500	384,764	9,987	394,751	△394,751	—
計	8,912,035	2,458,919	11,370,955	167,973	11,538,929	△394,751	11,144,177
セグメント利益	10,537	172,296	182,833	△22,585	160,247	△616,153	△455,906

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△616,153千円には、セグメント間の未実現利益の調整額△10,499千円、のれん償却額△35,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△570,381千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ブライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,540,582	1,229,466	12,770,048	278,959	13,049,007	—	13,049,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	167,425	167,610	18,934	186,545	△186,545	—
計	11,540,767	1,396,891	12,937,659	297,894	13,235,553	△186,545	13,049,007
セグメント利益	291,296	33,237	324,534	△31,755	292,778	△656,975	△364,197

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△656,975千円には、セグメント間の未実現利益の調整額8,098千円、のれん償却額△35,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629,802千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、ブライダル関連セグメントにおいて87,751千円の減損損失を計上しました。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、「ブライダル事業」を「ブライダル関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「宿泊サービス」「レストランサービス」「宴会サービス」を含めております。また、「建築・内装事業」を「建築不動産関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「コンテナ事業」「不動産事業」を含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの名称及び区分方法に基づき作成したものを開示しております。